



寒くなってきましたね。ついこの間まで、着るものに迷っていたのに…本格的な冬の到来です！
子ども達も園庭に出る時に「さむーい」と一端ジャンパーを着ますが、外に出て体を動かすことで「あつーい」とジャンパーを脱いでいます（笑）集団でも、園庭を5周マラソンしたり、鬼ごっこやわらべ歌あそび、大縄跳びやドッチボール等、体を動かす遊びを取り入れて元気で過ごせるよう取り組んでいます。

わらべうた

お集りの時にお当番さんが前に出てきて、日付、欠席者、給食のメニューを発表してのですが、最近ホワイトボードを見ずに言えるようになって来ました。絵本を読んだり、パズルや積み木を組み立てたり、繰り返し行う遊びの中でも子ども達の五感刺激され、記憶として定着していきます。その中でもわらべ歌は言葉・音楽・動き・遊びが一体になったものであり、同時にそれぞれの発達を促すことに長けています。歌や音楽に触れることで、耳からの感覚を刺激するのはもちろん、体を動かしたり触れ合ったりすることで全体の感覚を刺激することや、ルールを守る社会性も養うことができるのです。園でも、日々わらべうた遊びを行い社会性や言語能力・自己肯定感が身に着くように楽しみながら行っています。

「はないちもんめ♪」

かってうれしい はないちもんめ
まけてくやしい はないちもんめ
となりのお婆さんちよっときておくれ
おにがいるから行かれない
おかまかぶってちよっと来ておくれ
おかまそこぬけいかれない
おふとんかぶってちよっときておくれ
おふとんビリビリいかれない
あのこがほしい
あのこじゃわからん
このこがほしい
このこじゃわからん

「いちわのからすが♪」 (縄跳び遊び)

いちわのからすが かあか
にわのにわとり こけこっこ
さんはさかなが およぎだす
しはしらがの おじいさん
ほらいちぬけた ほらにぬけた
ほらさんぬけた ほらしーぬけた

あそび方

いちわのからすが…歌と共に1人が縄に入ります。にわのにわとり…で2人目と増え、3人目、4人目と続きます。ほらいちぬけろ…1人抜け、2人抜け、3、4と抜けていきます。



文学

また繰り返し行うことの一つとして文学も取り入れています。お集りの時に子ども達に絵カードを見せて、大人との言葉のやり取りや表情を変えたり等表現あそびを繰り返し行っています。同じ言葉を繰り返したり、言い回しなどのリズムを楽しむことで言葉の面白さを知ったり、理解力、記憶力が身に着いてきます。そしてそこから自分でイメージしたり、想像したりする力にも繋がって行きます。最初は大人と一緒にいていた子ども達も、友だちと一緒に自然と口ずさみながら楽しむようになって来ました♪

わんわんほえるの いぬですね

わんわんほえるの いぬですね
にやーごとなくのは ねこである
ぶーぶーいうのは ぶたでしょう
ちゅーとなくのが ねずみなら
ごろすけほうは ふくろうだ
かあかあいうのは からすだな
くわっくわっとなくのは あひるです
そんならかつこう なんとなく？
そいつはみなさんごぞんじだ

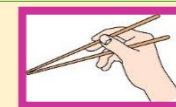


いろんなきのこ

うさぎにきいてみようかな？
きつねにきいてみようかな？
たべられるきのこ たべられないきのこ
ひらべったーいきのこ ひよるながーいきのこ
みんなしってるしいたけ まつたけ
なめこにしめじ はったけ くりたけ
からまつだけ はっぱにうずまってさがすのにこまる
こんきだけ けるとほこりのでる
ほこりだけ
たべるとわらいたくなるわらいだけ
ひらひらおどっているようなまいたけ
つきよのぼんぱつとひかるつきよだけ
まだまだふしぎなきのこがいっぱいある
どのきのこがおいしいきのこ？ どのきのこが
どくきのこ？
うさぎがおしえてくれるかな？



～お箸検定～正しい三点持ちを目指して



11月から午睡が無くなりました。その時間で今、にし組さんはお箸検定に向けて一生懸命練習しています。お箸検定にはそれぞれ段階があって、最初は1本のお箸を使って指ぬきの練習を行います。正しい指ぬきが出来たら手首の捻りを利用し、紐を棒に巻き付けたり、手の平で左右5回ずつ玉を回す練習を行います。それが出来ると正しい箸の持ち方で上の箸を動かしてカチカチ音を鳴らしたり、その段階を得ると、いよいよ消しゴムを小さくした物や木の棒、ビー玉などをお箸で挟み皿に移していきます。子ども達は、お箸検定の練習を楽しみにして「今日は練習お休みにする？」と大人が言うと「えーやりたい」「楽しみにしていたのに～」等の声もあがるように♡お箸検定で合格した子ども達は、給食で「お箸使えるよ」と自慢気に大人に言ったり、練習の時は小豆程小さい玉を挟んで並べ、グループで花やヨット等、アート制作に挑んでいます！